

暗雲漂う！激増する高速道路の交通死亡事故！

～「慣れ」「過信」「油断」は事故当事者になる三大要素～

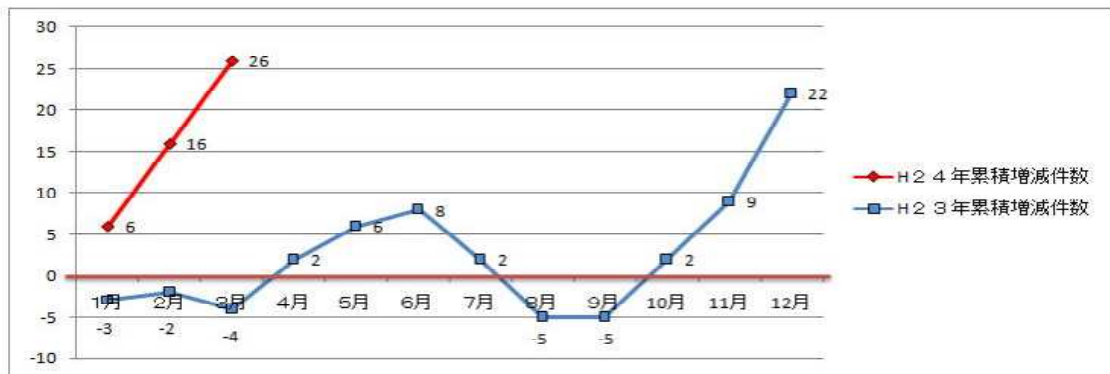
1 高速道路での死亡事故が昨年に比べ激増しています。

平成24年3月末現在の高速道路における交通死亡事故は56件60人（対前年同期増減率+86.7%+66.7%）と急増しています。

毎月約10人ずつ前年と対比して累計増減数を増やしていることから、この傾向に歯止めをかけなければ、年末には300件（参考：平成15年305件）の発生件数に迫る勢いです。

○ 累積増減件数の推移

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	※年間件数
H24年累積増減件数		6	16	26									
H23年累積増減件数		-3	-2	-4	2	6	8	2	-5	-5	2	9	22



※ 「H24年累積増減件数」とは、H24年の高速道路における交通死亡事故件数をH23年と同期対比した場合における年初からの累計増減数である。

※ 「H23年累積増減件数」とは、H23年の高速道路における交通死亡事故件数をH22年と同期対比した場合における年初からの累計増減数である。

※ 上記表の1～12月は、各月末における対前年増減数を表示している。

【死亡事故の特徴】

人对車の事故形態が多い。

- ・ 14件18人（対前年同期+8件+11人）
- ・ 佇立の原因は、事故6件 故障2件 立入・作業各1件 その他4件
- ・ 高速道路の危険性を認識していないと思われる佇立原因が目立つ。

1当が事業用貨物の事故が多い。

全体の45%を占める（H23中は35%）。

○ 佇立事故の原因となる事前の出来事の推移

	H22	H23	H24
故障	6	11	2
事故	7	12	6
立入	0	5	1
作業	2	1	1
その他	4	4	4
合計	19	33	14

※ H24年は3月末までの数値である。

※ H20～H23は年間の数値である。

2 人と車の事件事例

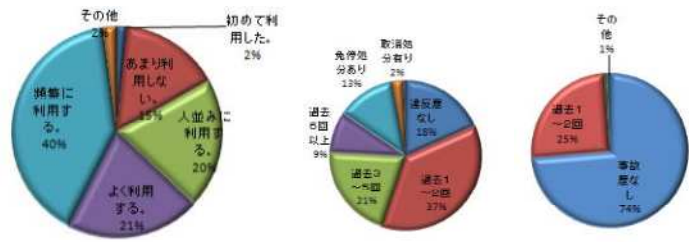
中型貨物車が走行車線を進行中、別件単独事故で走行・追越車線に跨り停止中の普通乗用車及び二次事故を防ごうと通報のため路肩に停止し降車佇立中の歩行者5人等と衝突。中型貨物車の運転者及び歩行者2人が死亡。

大型貨物車が追越車線を進行中、交通トラブルにより同車線に停止中の貨物車に追突。降車して本線車道上で口論中の歩行者3人を巻き込み、歩行者2人が死亡。

### 3 事故当事者の特徴

警察庁では、高速道路で交通事故の原因を作っている人（第1当事者）は、どのような人なのだろうかと、H23年中の交通死亡事故を調査した。すると、意外な結果が・・・

高速道路走行に慣れている人が事故原因を作っていた！



### 4 高速道路利用者にとってもらいたいこと

#### 慣れ過ぎず

いつも高速道路を利用する人も、高速走行に慣れ過ぎることなく、「これから高速道路を走るんだ」と強く意識して走行してください。

#### 過信は禁物

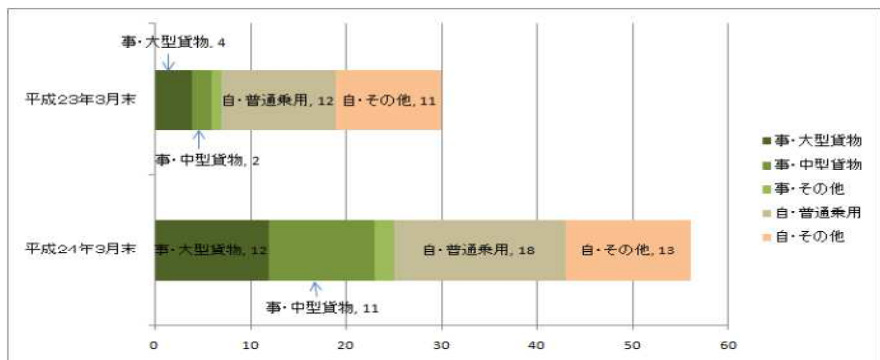
これまで無事故の方でも交通違反をしてしまったら、「事故当事者になる危険が身近に迫っている」と思い運転をあらためてください。

#### 油断は大敵

「高速道路にも歩行者がいる」「故障車両や事故車両が止まっているかも知れない」ことを忘れずに、油断せず、特に前方の安全を確認しつつ交通ルールを確実に守って慎重な運転に努めてください。

### 5 事業用貨物車を運転する皆さんにお願い

プロのトラック運転手が第1当事者になる死亡事故が増えています。高速道路走行の模範になるよう、車間距離をしっかりと保って安全運転をして下さい。



### 6 ゴールデンウィークを間近に控えて

例年、春先から7月にかけて交通死亡事故が増加します。それに加え、ゴールデンウィークには、日頃高速道路を利用しない方が遠出をすることが増えるため、あらゆる運転技能レベルのドライバーが高速道路で混在する状態となります。

高速道路交通警察隊では、速度超過や車間距離不保持、路肩通行等悪質・危険・迷惑性の高い違反の検挙活動を強化して、高速道路の安全を守ります。

H22年～H24年3月：高速道路の交通死亡事故等月別発生状況

